

○陳情事項

- 一、鳥取市が当初主催していた「星空のツリー」計画について、鳥取県が主催となり「星空のツリー」を2016年に砂の美術館の展望広場で実現してください。
- 二、星空のツリーにつきましては、当初予定しておりました、10月31日から年明けの1月3日までではなく、環境に配慮してクリスマスシーズンである、2016年12月3日、4日、10日、11日、17日～26日で行い、また光の強さを含め、光を照らす時間も生態系や環境に最大限に配慮して午後8時30分から9時00分で実施してください。
- 三、「星空のツリー」で得られた利潤の一部は、鳥取県の光害防止費用や鳥取砂丘周辺の環境保全費用に支出し、イベントで発生した環境負荷を還元してください。

○陳情趣旨

現在、鳥取の海を思わすイルミネーション「青きジオの世界」が鳥取市の主催で行われておりますが、もし計画が中止となっていなければ「星空のツリー」が鳥取の夜に見られるはずでした。しかし、「星空のツリー」計画は鳥取県内の組織及び団体ではないNPO「国際ダークスカイ協会」東京支部による生態系や天体観測の阻害などを懸念する表明文や、県内外の反対によって、今年5月29日に鳥取市は計画の中止を発表しました。

確かに、当初出された「星空のツリー」計画は、そのイベント開催期間が10月31日から翌年の1月3日の65日間であることや環境に負荷を及ぼすことに対する還元手段や方法がないことから、光害を懸念して環境保護団体や市民からの反対が発せられる事は必至であったでしょう。しかしながら、鳥取市は計画自体を取りやめて白紙にする必要はなかったと考えます。まず今回、このような反対が寄せられたのは、主催者の鳥取市が市民に対する情報公開を怠った事があげられます。反対され計画が中止するまでに「星空のツリー」について情報発信がなされた情報は、開催期間・



星空のツリー イメージ図
2015年5月29日産経ニュースより引用

会場の場所・観覧料金・星空のツリーについての簡単な説明です。環境に関する様々な情報や、星空のツリーを実施する明確な時間帯について情報発信がなされなかった事は反対の声を増やす一因となったでしょう。次に反対が寄せられた理由として、環境に配慮していないと言わざるを得ない開催期間の長さではないでしょうか。限られた時間帯とはいえ、65日間も光を投射することになれば、生態系への悪影響を及ぼす事は明らかです。「星空の

ツリーを実施する」と公に発表した以上、主催である鳥取市にはこれらの問題点を踏まえて、再度、計画を作り直して環境にも配慮したよりよい「星空のツリー」を実現する事に尽力すべきでした。しかし鳥取市は、鳥取県内でない団体からの表明文や鳥取県外からの反対意見を重視（※注1）し「星空のツリー」計画を白紙にしまいました。多くの鳥取県民や市民がこの「光のツリー」を楽しみにしておりましたのに、それを安易に取り止めることは無責任であると言えます。また、この「星空のツリー」計画はより集客性が高く商品化しやすいイベントとして審査において満場一致と言う高い評価をされて決定された計画から、実際に行えば経済効果（図1参考）は今開催されているイベントよりもずっとあったと言えます。「星空のツリー」という確実に話題性に富んだ媒体を使えば、鳥取県により多くの観光客を呼び込め、秋季から冬季の鳥取県の観光収入を通常より大きく上回る事が可能であったのに、それを取り止めることは甚だ勿体無い事です。加えて、「星空のツリー」計画で問題となった光害につきましても、「星空のツリー」で得られた収益で、今後の光害防止費に充てたり鳥取砂丘の環境保全費に充てたりする事で、還元という形で問題を解決することが可能であったと言えます。

（図1）星空のツリー実施時に得られる利潤（実施期間は陳情事項の通り）

Type	総来訪者	支出	収入	損益	その他の利益
A	84000人/日 6000人	2510万円	4032万円	+1522万円	周辺の宿泊施設の利潤 up 周辺の観光地の観光客数 up 周辺の飲食店の利潤 up 周辺の土産屋の利潤 up 鳥取の存在感 up
B	70000人/日 5000人	2510万円	3340万円	+830万円	
C	56000人/日 4000人	2510万円	2688万円	+178万円	
D	49854人/日 3561人	2510万円	2317万9800円	▲192万円	

備考：来訪者の大人子供の比率はどれも大人：子供＝6：4である。支出については、鳥取市の元々の計画を参考。サーチライトが500万円、電気代や維持管理費、人件費等が2010万円の合計2510万円である。Type Dの日来訪者3561人は平成26年の鳥取砂丘の日平均来訪者を表した数である。

以上から、「星空のツリー」がより多くの観光客を呼び込む手段であったり秋季冬季の観光収入を増加させたりするなどの好影響をもたらす計画であるのにも関わらず、この計画を進める事が出来なかった鳥取市に変わって、鳥取県には計画の主催となって、「星空のツリー」実現を強く進めて欲しいと願い、陳情した次第です。

※注1

（鳥取）市の担当者によると、29日までにメールや電話、直接訪問で市に寄せられた意見は52件。（星空のツリーについて）うち反対が46件、賛成が5件、賛否不明が1件だった。反対意見は県外から届いており、賛成意見はほぼ県内からだったという。

（ITmedia ニュース 2015年6月1日 11時52分 更新より）